



会長(写真)が「厳しい環境が続くが、工と材が手を携えて勝ち抜いて参りたい。材料メーカーとして多品種の製品を提供しており、会員各位の施工能力も確かだ。今後は資格取得者を増員してさらに体制を盤石にし、ユーザーに安心と信頼を提供し続ける。また、人手不足が要因で受注量の減少が懸念されるので、組織として人手確保に取り組むことで、受注機会を高めていく」と述べた。

新年度の事業計画として、施工管理者や作業員の雇用と育成を進めることで、人手不足による受注量減の解消を目指す制度を立ち上げる。また、コンクリート防食技士資格所有者の増加を目指して協会専門技術者数の向上を図るとともに、受注量向上を目的とした技術研修会の開催拡充も挙げた。

当日は、同協会管路部会の総会も開催された。井上敬介部会長が「自治体やコンサルタントからの問い合わせが増加していることから、今後の需要拡大が大いに期待できる。当部会の知名度向上を図りながら新技術開発を推進して下水道インフラの

維持保全に貢献し、会員企業の事業発展につなげたい」と挨拶した。

新年度の事業計画として、展示会出展を中心に部会の知名度向上を図るほか、審査証明を活用した啓発活動を推進する。また、専門技術者認定試験・更新研修実施による技術者の育成を挙げた。

通常総会を開催 材工連携で苦境を克服

JERコンクリ補改協

JERコンクリート補改修協会は8月1日、東京・港区のホテルアジュール竹芝で通常総会を開催した。審議された議案はすべて可決承認された。

冒頭、挨拶に立った佐藤匡良